

(仮称)世田谷区立池之上青少年交流センター運営事業者候補者の選定について

1 主旨

(仮称)世田谷区立池之上青少年交流センターの運營業務及び運営準備業務を委託するにあたり、プロポーザル方式による公募を実施し、以下のとおり運営事業者の候補者を選定したので報告する。

2 運営事業者の候補者名等

- (1) 事業者名 公益財団法人 児童育成協会
- (2) 所在地 千代田区四番町2番地12 四番町THビル
- (3) 代表者 理事長 鈴木 一光

3 経過

- 令和2年 9月15日 プロポーザル公告
- 9月28日 参加表明書提出期限(2事業者が提出)
- 10月 5日~ 財務審査
- 10月27日 企画提案書提出期限(2事業者が提出)
- 10月28日~ 書類審査
- 11月16日 プレゼンテーションによる審査

4 選定の方法等

(1) 選定方法

選定委員会を設置し、選定基準に基づき、提案書の書類審査、プレゼンテーションによる審査及び公認会計士による財務審査を行い、総合的に評価した。

(2) 選定委員会の構成(五十音順)

氏名	役職・所属等
青木 政子	青少年交流センター池之上青少年会館運営委員会委員長 元世田谷区立小学校長
清松 せつ子	池之上青少年会館協議会長
齋藤 啓子	野毛青少年交流センター運営委員会委員長 武蔵野美術大学 視覚伝達デザイン学科教授
須田 健志	子ども・若者部 児童課長
田村 朋章	生涯学習部 生涯学習・地域学校連携課長
知久 孝之	子ども・若者部長
望月 美貴	子ども・若者部 若者支援担当課長
吉永 真理	希望丘青少年交流センター運営委員会委員長 昭和薬科大学 臨床心理学研究室教授

委員長：子ども・若者部長

## 5 審査・選定結果

### (1) 審査・選定結果

評価項目		配点	児童育成協会	次点
主旨理解	国及び区の若者施策への理解	40	34	29
	本業務の主旨や内容の理解	120	93	72
事業計画	施設運営管理全般	80	66	54
	居場所づくり	80	62	50
	プログラム等事業の実施	80	66	54
	若者の参加・参画、協働	40	33	23
	地域・大人とのつながり	80	68	54
	広報	40	30	30
実施体制	事業の推進体制	120	99	81
	事業実績	40	40	40
	経営基盤（財務審査）	40	40	40
	見積経費	40	27	28
プレゼンテーション		80	58	48
合計		880 100%	716 81.3%( )	603 68.5%( )

( ) 満点に対するの評価点割合

### (2) 主な選定理由

- ・青少年交流センター池之上青少年会館が、これまで培ってきた取り組みや地域との関係を尊重しながら、若者との対話を重視し「やりたい」ことの実現に努め、若者が自らの力を社会で発揮するための豊かな学びと経験の場を創出していくという提案があった。
  - ・履行の信頼性の指標となる事業推進体制について、施設運営及び児童育成の経験のある職員を多く配置の予定であり、子ども・若者の発達特性への深い理解とともに、専門知識、スキルを習得する研修体制・手法を明確にした提案がされ、また地域の方々に形成される池之上青少年会館協議会との事業の協働開催及び、協議会受付の方を中心に地域スタッフを配置することについても提案がなされた。
  - ・居場所づくりについて、「自己形成」「多世代交流」を可能にする居場所の運営と、居場所づくりを担うユースワーカーの役割を適切にとらえ、訪れる多様な若者一人ひとりに寄り添い、必要な場合には個別支援にも取り組むという積極的な提案があった。
  - ・主旨理解においても、区の若者施策全体の中での青少年交流センターの役割を認識しており、3つの青少年交流センターが連携し、若者の交流と活動を推進するための拠点として、質の高い安定的な事業運営が期待される。
- 以上のことから、当該事業者の提案を採択するとの評価に至った。

## 6 今後のスケジュール（予定）

- 令和3年1月4日～ 運営準備業務委託  
 2月 福祉保健常任委員会（施設名称の変更等に伴う条例改正案報告）  
 第1回区議会定例会（ 同 条例改正提案）  
 令和3年4月1日～ 運営業務委託